

「課題名：難治性潰瘍性大腸炎に対する経口タクロリムス療法の
臨床的寛解導入と予後に関する実態調査」について

○ 研究の意義・目的

タクロリムスによる寛解導入治療を受けた難治性潰瘍性大腸炎の患者さんの症状、血液検査結果などから、どのような患者さんにタクロリムスが有効であるかを明らかにしていきます。

○ 研究対象者

2009年4月1日から2017年3月31日までに、広島大学病院消化器・代謝内科、内視鏡診療科でタクロリムスにより加療された潰瘍性大腸炎の16歳以上の方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、症状（下痢回数、血便の有無、腹痛など）、病型、罹病期間、血液検査所見、内視鏡所見、画像検査所見（CT、造影検査）治療内容・期間です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

以下の機関と共同で研究します。（島根大学医学部に情報を集め解析します。）

- ・島根大学医学部
- ・岡山大学医学部
- ・川崎医科大学
- ・鳥取大学医学部
- ・山口大学医学部
- ・香川県立中央病院

○ 研究期間 2018年10月5日（委員会承認後）～2023年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

○ 試料・情報の管理責任者

島根大学医学部内科学第二 石原 俊治

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1733

広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治（研究責任者）

助教 林 亮平（担当者）